

第9回 理事会

日 時：平成30年12月17日(月)14：00～17：10

場 所：本学会会議室

出席者：木方副会長(議長)、向山副会長、清水常務理事、伊藤、稲垣、大谷、大沼、奥村、長田、小俣、黒木、小松原、中曾根、原、船山、和田各理事
中嶋、野村各監事
(理事24名中16名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

1. 前回議事録の確認

- ・平成30年11月20日開催の第8回理事会の議事録を承認した。

2. 審議事項

1) 会員状況及び新入会員の承認

- ・事務局長から、会員状況について説明があり2名の正会員の入会について承認した。
- ・12月17日時点で、正会員、学生会員、名誉会員の合計が1,953名であることを確認した。

2) 委員の承認

- ・土木地質研究部会から提案された飯塚会員の新任について承認した。
- ・災害地質研究部会から提案された北川会員の委員新任について承認した。
- ・総務委員会の菖蒲委員の退任に伴う委員交代として、新田会員の新任について承認した。
- ・社会貢献と魅力発信に関する特別委員会の菖蒲委員の退任に伴う委員交代として、新田会員の新任について承認した。

3) 旅費規程について

- ・常務理事から「旅費規程等の制定について」の説明があった。
- ・今回提出の「謝金及び旅費規程」については大枠で了解したが、総務委員会において「旅費規程案に関する意見集約表」を再度関係者(委員会、研究部会、支部等)に配付して意見を聴取することとあり、出された意見と対応を確認することとし、次回以降の理事会で最終の審議を行うこととした。
- ・現規程の「謝金及び業務委託費等規程」を「謝金及び旅費規程」に改めるにあたり、改定の「謝金及び旅費規程」から漏れる条項に関して、新たに「業務委託費等規程」を定めないことを了解した。
- ・ただし、改定の「謝金及び旅費規程」から漏れる条項(原稿料、行事費、委託販売等)は現行の「受諾研究取扱規程」及び「試験研究・調査業務委託規程」に適切に追記することとし、次回以降の理事会に諮ることとした。

4) 個人情報取扱規程及びプライバシーポリシーについて

- ・常務理事から、前回理事会において指摘された箇所を修正・加筆した「個人情報取扱規程及びプライバシーポリシーについて」及び運用において必要となる書式(個人データ取扱台帳、個人情報の保護及び適正な取り扱いに関する誓約書、個人情報の取り扱いに関する監査報告書)の案が説明された。
- ・「個人情報取扱規程」及び「プライバシーポリシー」について了解するが、実運用に向けた細部の帳票類について再検討を加えることとし、次回以降の理事会で審議することとした。
- ・責任者(個人情報保護管理者、個人情報利用責任者、監査責任者)については、改めて任命書等は発行しないが、関連する規則等において役職の担務内容に追加する等が必要であり、平行して検討を進めることとした。

5) 職務権限規程について

- ・常務理事から、前回理事会において指摘された箇所を修正・加筆した「職務権限規程の制定について」の説明があった。
- ・「職務権限規程」の内容を承認し、平成30年12月17日をもって制定とした。

6) 将来構想委員会準備会について

- ・担当理事から、「将来構想委員会準備会趣意書案」が説明された。学会員に向けたアンケート結果をもとに重点課題を洗い出し、今後の取組み内容や対応方針を示す内容である。2020年の総会での報告を目指し、本年度中に下準備を進め、2019年度内にアンケート結果を土台とした詳細構想を練るスケジュールが示された。

- ・「将来構想委員会準備会」のメンバーについて、第8回理事会での構成員に関連部署を加え、以下の陣容で進めることとした。

リーダー：小松原理事

メンバー：小俣理事、和田理事、副会長(1名)、総務委員会、広報・情報委員会、編集委員会、事業企画委員会、研究企画委員会、応用地質学教育普及委員会、社会貢献及び魅力発信に関する特別委員会(各委員会から1名)とする。

- ・第1回の「将来構想委員会準備会」を平成31年1月10日(木)10：00～に開催する。関係各位はご出席願いたい。

7) First Himalayan Engineering Geological Congressについて

- ・担当理事から、「First Himalayan Engineering

Geological Congressについて」が説明された。当学会がSupporting International Partnerとなること、脇坂会長、茶石顧問、伊藤理事がInternational Advisory Membersとなる件について承認した。

8) ダム地質カードの今後の取り扱いについて

- ・常務理事から、土木地質研究部会から提出の「ダム地質カードの今後の取扱いについて」の説明があった。10～12枚程度発行する予定であり、印刷費として30万円程度を補助することとし、予算案に盛り込むこととした。
- ・著作権の扱いについて、事前に確認しておく必要があるとの意見が出された。

9) 一家に一枚ポスター企画について

- ・担当理事から、研究企画委員会で次年度に取り組み予定の「一家に一枚ポスター企画について」の説明があった。これまで3回挑戦してきたが、今回は必勝を期して臨む予定であり、他応募者の出来栄を見るとプロの手による構成(パーツ作り含む)が必要であり、別途予算化して対応したい。
- ・今回の応募テーマとしては、地下水、火山、石材、景観を考えており、アウトリーチ、社会貢献等の学会が見通す将来展望にも近いテーマであるため、仮に落選となっても(著作権は学会)、学会の宣伝ツールとして利用できる。以上から、10万円程度を補助することとし、予算案に盛り込むこととした。

3. 確認事項

1) 収支状況

- ・事務局長から平成30年度11月期の本部収支が説明された。
- ・予算上、現時点では大きな変更等は発生していない。

2) 2018年度事業報告案、2019年度事業計画案の作成準備について

- ・常務理事から、2018年度事業報告案、2019年度事業計画案の作成工程の説明があった。3月末には確定版を作成する必要がある。本理事会後に関係各署に電子データを配信し、記入、修正をお願いする予定であり、関係する委員会、研究部会、支部の方々は、ご準備をお願いしたい。

4. 本部からの報告事項

1) 他学協会からの依頼

- ・常務理事から、宇田川会員から提出の「学会資料の書籍への転載許可依頼」について、総務委員会で承認したことが報告された。
- ・防犯防災総合展実行委員会から提出の「防犯防災総合展2019」の後援名義の使用依頼について、総務委

員会で承認したことが報告された。

- ・名古屋国際見本市委員会から提出の「第7回中部ライフガードTEC2019-防災・減災・危機管理展」の協賛名義の資料について、総務委員会で承認したことが報告された。

2) 2018年度前半職務執行状況の報告

- ・2018年度前半の職務執行状況の報告(会長、副会長、常務理事)が説明された。

3) ダイバーシティ推進準備会について

- ・担当理事から、「ダイバーシティ推進準備会について」のホームページ開設の説明があった。

4) 2019年度「応用地質」巻頭言執筆者の決定

- ・常務理事から、2019年度「応用地質」巻頭言執筆者を下記の通り決定したことが報告された。
第1号(4月号): 岩崎好規会員
第2号(6月号): 茶石貴夫会員(元理事: 副会長)
第3号(8月号): 中嶋幸房会員(監事)
第4号(10月号): 北田奈緒子会員(理事: 関西支部長)
第5号(12月号): 井口 隆会員(元理事)
第6号(2月号): 未定(岩の力学連合会)

5) 2019年シンポジウムについて

- ・担当理事から、2019年総会・シンポジウムの内容について説明があった。6月21日(金)に東大柏キャンパスに正式に決定した。

6) 西日本豪雨災害調査団関連

- ・担当理事から「平成30年7月豪雨災害調査団活動報告」が説明された。

7) 胆振東部地震災害調査団関連

- ・担当理事から「北海道胆振東部地震災害調査団活動報告」が説明された。

8) 防災学術連携体関連

- ・常務理事から、平成31年3月12日に開催される「平成30年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告(案)」の内容と発表募集について説明された。災害地質研究部会に担当いただくこととした。

5. 委員会からの報告事項

・編集委員会

- ・2019年度(第60巻第6号)の特集号のテーマが「応用地質における技術教育」に決まった。

・事業企画委員会

- ・担当理事から、「平成30年度日本応用地質学会現場研修会企画書(案)」が説明された。平成31年1月16日に神奈川県秦野市周辺で建設中の新東名高速道路の工事現場の見学を行う。